

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 459

| | | | | | |
|------|--------|-----|--------------------|------|-------|
| 所管部局 | 農林商工部 | 所管課 | 商工観光課 | 担当者名 | 大谷 洋史 |
| 事業名 | 水産振興事業 | | | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 水産振興事業 | | | 政策体系 | 211 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 6.農林 - 3.水産 - 1.水産 | | |

1. 事業の概要

漁業協同組合が実施する清流を守る取り組みに対し支援を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

清流を守り、豊かな河川環境をつくる事業

②事業を実施する必要性

本市の河川に生息する本来の魚が鳥類や外来魚による食害、河川へのゴミの投棄などを防止し、アユ、アマゴ等の水産資源が豊かになる環境をつくるため、漁業協同組合の対象事業に対し支援を行っている。

3. 事業費の推移

| | | 単位 | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | | 千円 | 2,400 | 3,504 | 2,246 | 1,866 | 1,665 | 1,890 | 1,890 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 630 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 2,200 | 3,504 | 2,246 | 1,236 | 1,665 | 1,890 | 1,890 |
| 職員等の従事人員 | | 人/年 | — | — | 0.54 | 0.10 | | | |
| 人件費 | | 千円 | — | — | 4,632 | 752 | | | |
| 事業費総額 | | 千円 | — | — | 6,878 | 2,617 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|------------|----------|
| 各漁業協同組合補助金 | |
| 大堰川漁業協同組合 | 820,000円 |
| 美山漁業協同組合 | 980,000円 |

5. 事業結果の概要

大堰川河川環境整備
 美山川河川環境整備
 （カワウ食害対策、外来魚駆除、川辺環境整備
 （川辺の草刈、ゴミ拾い、漁場リーフレットによる啓蒙啓発）

6. 活動の詳細

| 活 動 内 容 | 活動日又は時期 | 活 動 結 果 等 |
|---------------------------------|---------|-----------------|
| (1) 大堰川 | | |
| カワウ食害防止対策 | 通年 | カワウの駆除を行った。 |
| 外来魚駆除対策事業 | 通年 | ブラックバス等の駆除を行った。 |
| 川辺環境整備（川辺の草刈、ゴミ拾い、ゴミの投機防止看板の設置） | 通年 | 釣り場環境の向上を図った。 |
| (2) 美山川 | | |
| カワウ食害防止対策 | 通年 | カワウの駆除を行った。 |
| 外来魚駆除対策事業 | 通年 | ブラックバス等の駆除を行った。 |
| 川辺環境整備（川辺の草刈、ゴミ拾い、ゴミの投機防止看板の設置） | 通年 | 釣り場環境の向上を図った。 |

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

水産資源が豊かになる環境創出のため、漁業協同組合へ事業補助を行うことで豊かな河川環境を維持することができた。
 今後の方向性としては、漁業協同組合に対する行政支援も限られた予算の中で限界があり、市民及び来訪者等全ての立場で清流を守る取り組みが必要である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
水産資源が豊かになる環境の創出について議論した。
- ②当該事業のアピール事項
河川へのゴミ等の投棄防止により、清流、豊かな河川が守られる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
漁業協同組合及び市民並びに来訪者等全ての立場で清流を守る取り組みや意識改革が必要である。